

サマーセミナー2024

小機能・口機能の取り組みを解説

協会は、サマーセミナー2024「難解2024診療報酬改定を整理しつつ、厚労省の青写真を斬る」を7月20日にM&Dホールで開催した。田辺隆氏(全国保険医団体連合会副会長)を講師に



講師の田辺氏



講演を聞く参加者

57人が参加した。協会が実施した「2024年歯科診療報酬改定アンケート」には、今回の改定は複雑怪奇であるとの意見が多く寄せられた。田辺先生は改定を担当した技官の言葉

や狙いを紐解いた。純粋な医療とは懸け離れ、今回の改定の難解さを増長させている「医療DX」「ベースアップ評価料」については、小規模な歯科診療所では対応困難な部分が多く、簡単に乗るべきではないと解説した。また、個別の改定項目についても詳細な解説があった。なかでも外感染(歯科外来診療感染対策加算)の施設基準の人的要件が緩和したことや、

口腔機能発達不全症・口腔機能低下症に関する項目において、高価な検査機器がなくても取り組むことも可能であることなど、小規模な診療所でも対応できるものをより詳細に解説した。

この間の改定は、地域医療を支える診療所には目を向けず、高額な機器を施設基準に位置づけ点数を厚く割り当て、スクラップアンドビルドという手法で医療の本質部分を削り取っている。さらに、10月から始まる長期収載品薬剤の保険外併用療養費制度は、皆保険制度を揺るがしかねない。この保険外併用療養費制度の拡充は、歯科に引き

CD請求の先生方へ 猶予届は8月31日までに提出を (詳細・書き方は7/5付参照)

ベースアップ、医療DX 診療報酬といえるのか

大阪府保険医協会副理事長 井上美佐氏



2024年診療報酬改定が6月から実施となった。「ベースアップ評価料を患者に説明するのは困難だ」「複雑で算定できない改定だ」などの声が上がっている。保団連代議員会で今回の改定、問題ありと発言された、大阪府保険医協会副理事長の井上美佐氏に寄稿してもらった。

なった。特に問題となるのは、ベースアップ評価料と医療DX推進体制整備加算である。

特に問題があるベースアップと医療DX 診療報酬が改定されて1か月を過ぎた。今回の診療報酬改定は実に大幅な変化かつ複雑なものに

また事務職員は対象外になるなど差別的であるし、ベースアップ評価料で得られた報酬は設備投資等ではなく、すべて対象職員の賃上げに充てなくてはならない。このような患者に還元されることのない医療費を、はたして診療報酬と呼べるのだろうか。また、医療DX推進体制整備加算は、電子処方箋の導入やマイナ保険証の利用促進を条件として、歯科では月1回6点算定できる。そもそも電子処方箋やマイナ保険証を利用することが医療D

寄れば「補綴の保険外し」が懸念され、大変危険な制度となる。田辺先生は最後に、「我々保険医が今すべきは保険診療を守ること!」と強調した。(社保研究部 平尾清司)

寄稿

正々堂々と大幅引き上げ求める

正々堂々と大幅アップ求める

初再診の基本診療料のアップをわずかにして、このような算定に手間やお金のかかる加算を取らせるといふやり方は巧妙である。算定すれば、国の思いつば(医療データの収集や、マイナ保険証の促進)、算定しなければ医療費の削減になる。我々医療者にとっては、どちらに転んでもいいことはない。このような加算に惑わされることなく、我々の長年かけて修練してきた医療技術を提示するものとして、正々堂々と初再診料の大幅アップを求め、請求するべきである。



アトア前で集合写真



幻想的な日本最大の球体水槽

新感覚アクアリウムに感動

神戸日帰りバスツアー



テーブルマナー講座の様子

女性医師・歯科医師の会は6月23日、神戸日帰りバスツアーを催した。女性会員やその家族、スタッフを中心に18人が参加した。「日帰りバスツアー」はコロナ禍の影響で中断しており、今回は5年ぶりの開催となった。一行は神戸市内にあるTASAKI本社のギャラリーに立ち寄り、真珠等のジュエリーを見学し、ショッピングを楽しんだ。神戸ポートピアホテルに移動し、神戸たむらにて和食のテーブルマナー講座を受講。お箸のタプーやお椀の作法など丁寧な説明があり、新鮮な海の幸に舌鼓を打った。その後、アートアクアリウム「アトア」で、舞台美術やデジタルアートが融合する劇場型のアクアリウムを鑑賞。シンボリックな水槽を配した館内では、癒しと感動が提供された。会員間では交流も活発にされ、親睦が深められた様子であった。



生涯研修で実施中 保育が利用できます

組織部長 玉川尚美

今年7月開催の生涯研修講座から保育(無料)の実施をスタートさせました。7月も利用があり、8月の生涯研修でも予約の申し込みがあります。利用方法は、生涯研修講座に参加される会員の先生が、開催の10日前までに生涯研修の参加申込とともに保育利用についてもお申し込みをいただきます。 「こんな制度があるなら、もっと案内してほしい」などの歓迎の声が寄せられています。ご希望の先生はぜひ積極的にご利用ください。ご利用に関するお問い合わせは協会・組織部まで。